



校報

わきいち

和合協力

気力体力

意志強固

知識探求

創立 明治8(1875)年

〒010-0342

男鹿市脇本脇本字上野1番地1

男鹿市立脇本第一小学校

TEL 0185-25-2215

FAX 0185-22-2009

<https://edu.city.oga.akita.jp/wakiichi-es/>

今年の冬は、2月に最高気温が10℃を優に超える日があり、積雪もほとんどありません。大人にはありがたい暖冬ですが、雪遊びができない子どもたちは少々物足りなさを感じているようです。

さて、「1月は行く。2月は逃げる。3月は去る。」と言いますが、あっという間に3月を迎えてしまいました。児童玄関に入ると、毎年恒例のお雛様が迎えてくれます。この時期になると、雛人形を飾りながら、今年度も間もなく終わりとしみじみと感ずることが常となりました。6年生は卒業まであと2週間。間もなく巣立ちのときを迎えます。



新1年生体験入学 & 入学説明会

2月2日(金)、入学説明会を実施しました。保護者に向けた説明会の間、1年生は新1年生と楽しく交流しました。新1年生に喜んでもらおうと、お兄さんお姉さんとして張り切って頑張る姿に成長を感じました。



<大型テレビを使った1年生による読み聞かせ>



<じゃんけん列車で一緒に遊びました>

2023年度 海ノ民話のまちプロジェクト 男鹿市民話アニメ上映会&特別学習会開催



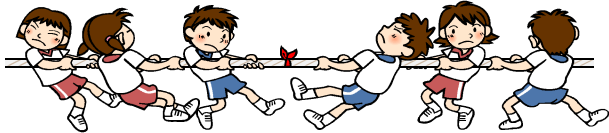
2月19日(月)、3年生を対象に民話アニメ「黒神と赤神の戦い」上映会が実施されました。これは、海ノ民話のまちプロジェクトが、日本各地に数多くある海にまつわる民話や伝承の中から、男鹿市の「孔雀の窟」に伝わる話を選定しアニメーション化した記念として行われました。

男鹿半島の火山活動と波の浸食による独自の地形や大地の成り立ち、アニメの制作についてゲストティーチャーから学ぶ場面もありました。

男鹿市ジオパーク学習センターの〇〇さんからは、男鹿の大地のつくりや地形の特徴について教わりました。また、本プロジェクトのPRプロデューサーの〇〇さんからは、プロジェクトの活動内容やアニメ制作について説明していただきました。機会がありましたら、この民話アニメを是非ご覧ください。

受賞おめでとう Congratulations

☆男鹿市民スポーツ大会
 <綱引き競技 小学生低学年の部>
 優勝 男鹿ラグビースクールC
 4年 ○○○○さん
 ○○○○さん
 3年 ○○○○さん
 ○○○○さん
 ○○○○さん



1日	金	6年生ありがとう集会 全校5校時限
4日	月	A L T訪問
5日	火	町内児童会
6日	水	全校5校時限
11日	月	A L T訪問
13日	水	卒業式予行 全校5校時限
15日	金	卒業証書授与式 全校4校時限
18日	月	A L T訪問 全校5校時限
19日	火	全校5校時限
20日	水	春分の日
21日	木	修了式 全校4校時限
22日	金	春季休業日～4月3日
28日	木	離任式(全校出校日)

体育館の渡り廊下にある道徳の掲示コーナーには、「困っている人がいると助けてあげていいと思います。これからも続けてね。」など、友達への温かいメッセージが寄せられています。子どもたちに豊かな心を育むためのアプローチのひとつとして取り組んでいます。

学校運営協議会から

学校経営について、学校運営協議会の皆様からいただいた評価の一部を紹介します。

確かな学力の育成について

- ◆先生と子どもたちとの信頼関係が最も大切で、学習意欲や自己肯定感など全てにつながる。間違いや失敗に臆することなく、安心して発言行動できる子どもでいてほしい。
- ◆4・5年生のアンケート結果で「授業が分かりやすい」という回答が95%というのは素晴らしい。数字で計れない学力も大切にしてほしい。
- ◆ICT活用で授業の充実と子どもとのコミュニケーションを大事に、成績が向上するよう頑張してほしい。
- ◆授業参観時には、子どもたちの学習に取り組むよい姿が見られるが、県の学習状況調査の結果が平均以下というのが残念である。「読む、書く、話す、聞く」全てのベースとなる国語力を高めることが必要ではないか。
- ◆タブレットや他県にはない自学ノートを十分に活用するなどして基礎を身に付けてほしい。

豊かな人間性の育成について

- ◆放課後子ども教室では、子どもたちは人の話をよく聞き、自分の考えも発言している。日常の学校生活で育まれているのだろう。地域の方に親しみ、明るく楽しく活動している。

- ◆全教育活動を通し、子どもたちをよりよく育てようとしている姿勢が見られる。
- ◆キャリア集会や餅つき集会等、地域と保護者が協力して活動できたことがよかった。
- ◆コロナも少し落ち着き、婦人会をはじめとする地域とのつながりも復活し、大変嬉しい。子どもは地域の宝であり、子ども自身が自分も友達も大切な存在だと感じてほしい。
- ◆学習発表会は何の学年も見ごたえがあり素晴らしく、全校合唱の歌声に感動した。餅つきで「手伝いたいです!」と積極的に参加し、恥ずかしがらずに行動できる姿に、日頃の学校での活動が生きていると思った。

たくましい心と体の育成について

- ◆先日の放課後子ども教室で、見学に来て迷っていた地域の方を会場に案内してくれた子どもたちがいた。その方は「協一っ子素晴らしい」と感動していた。やさしくたくましい大人に成長することだろう。
- ◆コロナが5類に移行し、対応の難しさがあったと思うが、工夫してよく取り組んでいる。
- ◆クマ出没への早急な対応に感謝している。また、地震や度重なる災害に備え、避難訓練の大切さを痛感した。今後も学習会を開催するなど防災意識・安全意識を高めてほしい。体力・知力をしっかり身に付けてほしい。
- ◆「相手の気持ちを考えて行動する」ことが難しい学年もある。共感力を高めてほしい。